

「タイトル」

当事者の言葉

～復職24年 森山政与志の思い、仲間たちと語ったUDナイトトーク～

1, 翌朝 復職ボタンの起動

(1) 身の丈の達成感が無念さを和らげる 幸いにも目・耳・口・右手足・「心」も崩れていない

与条件(境遇)を受け入れ先送りせず楽しんでベストを尽くす

こうなるまで 何の障害も無かったら「障がい者」になってしまった事を受け入れ「復職」が果たせた 今の自分は無い

(2) 父母への償い

2, 障がい者になった後の運転免許取得

無くしたスキルを新たなスキルで補う

3, 障がい者になった後に知り合った女性と2017(H29)年にと67歳で入籍

輝ける未来は過去をも変える

JFMA-UD部会アドバイザー
森山政与志/49歳から現在(73歳)
残された能力で 不良



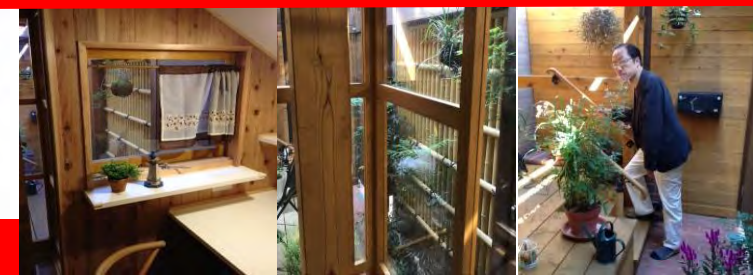
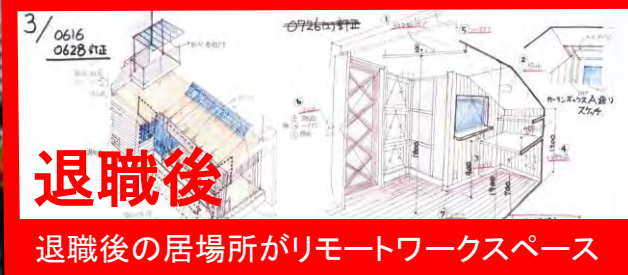
1、身の丈の達成感(その都度 ポストでベスト)

「やったるぜ！」

健常者時代 18歳～49歳 → 軽やかに



障がい者時代 49歳～現在(73歳) → より軽やかに



2、I 急性期治療と闘病・リハビリ/7ヶ月間

「やったるぜ！」

(1) 上尾中央総合病院/理学・作業療法士

- ① 駅構内で倒れ即搬送、手術はせず
右出血部腫れ・点滴治療、ベットで絶対安静脱脂綿の水を吸う、大小便は介助
- ② 腫れが収まらず、リハビリが出来ない
主治医がベットに理学・作業療法士を呼び、関節可動領域の訓練開始 同町出身の作業療法士
- ③ 3~4週間後に腫れが収まり 初期リハビリの開始
この時期が重要 リハビリ道場で杖歩行、衣服着脱等訓練 開始、当初はプラスチック短下肢装具拒否
- ④ 生まれ変わるなら生きてる内

(2) 埼玉県総合リハビリテーションセンターへ 3ヶ月後に本格的(復職)なりハビリ開始



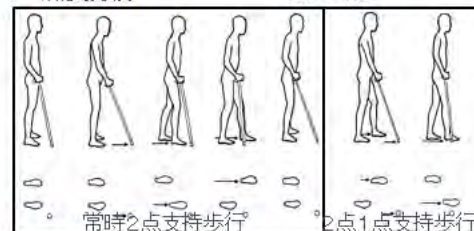
(1) 埼玉県総合リハビリテーションセンター/理学療法士

理学療法士による歩行訓練→朝、昼、晩と励んだ自主歩行訓練
屋上から建設中の「ラフレさいたま」が見える

- ① 介助者付きから自走(一人)式車椅子移動
- ② 平行棒内つかまり歩行訓練
- ③ 本格的な杖歩行訓練
ア:4点から1点支持杖
イ:常時2点支持歩行
ウ:2点1点支持歩行
- ④ 階段・中庭での杖歩行訓練



4点支持杖 1点支持杖



常時2点支持歩行 2点1点支持歩行

4点支持のリハビリ杖の画像検索結果による

自分らしい美しい歩行を希望

(2) 退院時の歩行能力

無風で付き添われ一周500mをやっと歩く

(3) 電車乗降等の復職訓練が始まらない

復職の電車乗降訓練などが要員不足か？出なかった

(1) 急がれる復職支援体制(電車乗降等)の確率

- 病院から書類を提出 職場と相談してその期間を獲得
- ① 自身で習得の事と退院時に資料を渡される！
- ② 独り身の為、75歳の父と車椅子を、疲れたら座る為、後からひいてきて貰いそれらの獲得を一人でやるしかなかった！

(2) 主な復職に向けた訓練項目)

- ① 公共交通機関の利用 駅
駅社員が少なく障がい者優先対応には限界があると断られる
- ② 移動手段の確保 自動車免許取得
- ③ 復職用の装備品 スーツ、靴、他 装具の入るサラリーマン風デザインの靴などが少ない
- ④ 復職に必要なこと全て



1) 埼玉県総合リハビリテーションセンター/作業療法士・他

- ① 左手→麻痺、機能回復は絶望
机の上に仰向け、右手で麻痺左手を掴み持ち上げる。机上で、麻痺左手下にタオルを敷き、左右に滑らす反復運動
- ② 衣服・靴などの着脱
基本的な着脱動作は上尾中央総合病院で習得、毎朝の食事や洗面、ワイシャツとズボン、靴などの着脱は復職を意識した外出着
- ③ 飲食
- ④ 大・小排便
- ⑤ 洗面・入浴
- ⑥ 脳検査(記憶・判断力)
- ⑦ 心情の記述
パソコンに日々の心情を入力、無言の悲し
- ⑧ 読書



衣服の着脱 靴の着脱 入浴

3、移動困難を新たなスキルで補う

「テクノロジーの進展」が「選択の自由」に繋がる

(1) 障がい者になった後の免許取得

① 右脳の脳出血は左前方の意識が薄れる理由で 許可は退院間近か 但し**病院指定(合宿)教習所**

② そこは雰囲気(暗いイメージ)が合わず **辞退**

(2) 民間教習所長をニッコリ説得 退院翌日から通う

① 鉄骨造三階建てだが、エレベーターが無い

② 教官に障がい者を教習した経験者がいない

③ 洋式便所が無いが **いまさら引くに引けない**

(3) 車・カーナビ・ETCは**私の**最高のUD

① 強風の危険や突然の雨に濡れない

② 荷物を載せれる

③ 電車やバスへの乗降危険やトイレ不安の解消など

④ **非常食保管や帰宅困難時の宿泊場所**



教習所コース



鉄骨三階建



階段

4、教官に励まされ 約3.5ヶ月間で免許取得

「テクノロジーの進展」が
「選択の自由」に繋がる

(1) 退院次の4月21日からの教習所通い 8月7日免許取得

- ① ハンドルに握り玉付の私の専用車を用意
- ② 移動時間を短くする為 職員室の通り抜けを許可
- ③ 暫くすると 和式便器にポータブル洋式便器を設置
- ④ 路上試験などは 私一人を専用車で個別対応
- ⑤ ペーパーテストで教科書を右手一本で見るには時間がかかる
- ⑥ 救急対応や高速道路での事故時に標識が設置出来ない
- ⑦ 障がい者になった実感が薄らぐ
- ⑧ 数年後に教習所が大手教習所に合併された
- ⑨ 上尾駅で見知らぬご婦人に「声」をかけられた
- ⑩ 違反講習を受けた教習所でのこと

(2) 教習項目 一部緩和はあっても 運転規則
遵守は健常者と同じ この気持ちで職場復帰



5、変わった事を受け入れ 生活も仕事も組み替える

「テクノロジーの進展」が「選択の自由」に繋がる

(1) 移動困難

- ① うさぎ (15.0km/H) → 亀 (1.2km/H)
- ② 電車やバスの乗降が危険
- ③ 階段乗降が辛い、しゃがめない 座れない

(2) 作業困難

(3) 全てに時間が掛る

- ① 就業・酒・睡眠時間が5時間減
- ② 生活・通勤時間が5時間増

	健常者時代							障がい者時代							増減時間
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
1、生活	45分							4時間15分							↑ 3時間30分
2、通勤	2時間45分(電車)							4時間15分(車)							↑ 1時間30分
3、就業	12時間														↓ 3時間
4、酒(飲み会)	1時間45分														↓ 1時間45分
5、睡眠	6時間45分							6時間30分							↓ 15分

身体状況	AM											PM											
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1, 健常者	睡眠											就業/12時間											酒
霞が関(44km)	就寝1:00			起床7:45					出社9:30			退社9:30											11:15
2, 復職時	睡眠				生活		通勤	就業/5時間				通勤	教習所		生活								
復職時/大宮(12km)	起床5:30					出社10:00				退社3:00						就寝10:30							
3, 中途障がい者	睡眠				通勤	就業/9時間						通勤		生活									
現在/霞が関(44km)	起床5:00		6:15		出社8:30			退社5:30						就寝10:30									

6、私の自己管理の甘さ 私の自己責任

「テクノロジーの進展」が「選択の自由」に繋がる

組織へ与えた損害と受けた支援への感謝の気持ちを どう表すか？

	年代	年齢	勤務地	移動		組織／役職	職種	備考
健常者	1999(H11) 1010	49歳	霞が関	電車	JR メトロ(銀座線)	郵政省施設部 本省主任者	企画	1999(H11)年0420 勤続30周年表彰
発病 障害者	1999(H11) 1011	49歳	霞が関			郵政省施設部 本省主任者	企画	温情に溢れたリハビリ 中の降格辞令交付
復職	2000(H12) 0608	49歳	大宮	バス 電車 車	自宅～大宮(バス) 大宮～与野(電車) 一般道路 ◎地下駐車場 片道10km	郵政省施設部 無(UD特命担当)	郵便局の UD	こうなった私の特性を 活かした業務 埼玉県ユニバーサル デザイン懇話会委員
転勤 ①	2002(H14)	52歳	霞が関		高速道路 与野～霞が関 ○地上駐車場 片道44km	総務省郵政事 業庁から日本 郵政公社 兼務 課長補佐	設計・監理	2002(H14)年 社宅用意(52歳) 2006(H18)年 顔面麻痺(56歳)
転勤 ②	2007(H19)	57歳	浅草	車	高速道路 与野～飯田橋 △機械式駐車場 片道45km	日本郵政(株) (支社)グループ リーダー	サービス管理 設計・監理	・新潟医療福祉大学非常勤 講師 ・千葉県立保健医療大学 ・聖学院大学 ・JAFM ・埼玉県UD推進アドバイザー ・各種セミナー
定年	2011(H23) 0331	60歳	浅草				データ入力	
転勤 ③	2013(H25)	62歳	霞が関		東道路 ～霞が関 !上駐車場 片道44km	日本郵政(株) 無 高齢再雇用社員	アーカイブ	
退職	2016(H28) 0331	65歳	霞が関					2016(H28)年0331 退職
現在	2023(令5)	73歳	埼玉県 上尾市	車		任意組織 代表	執筆・講師 企画設計	「生活環境・企画設計 工房」設立

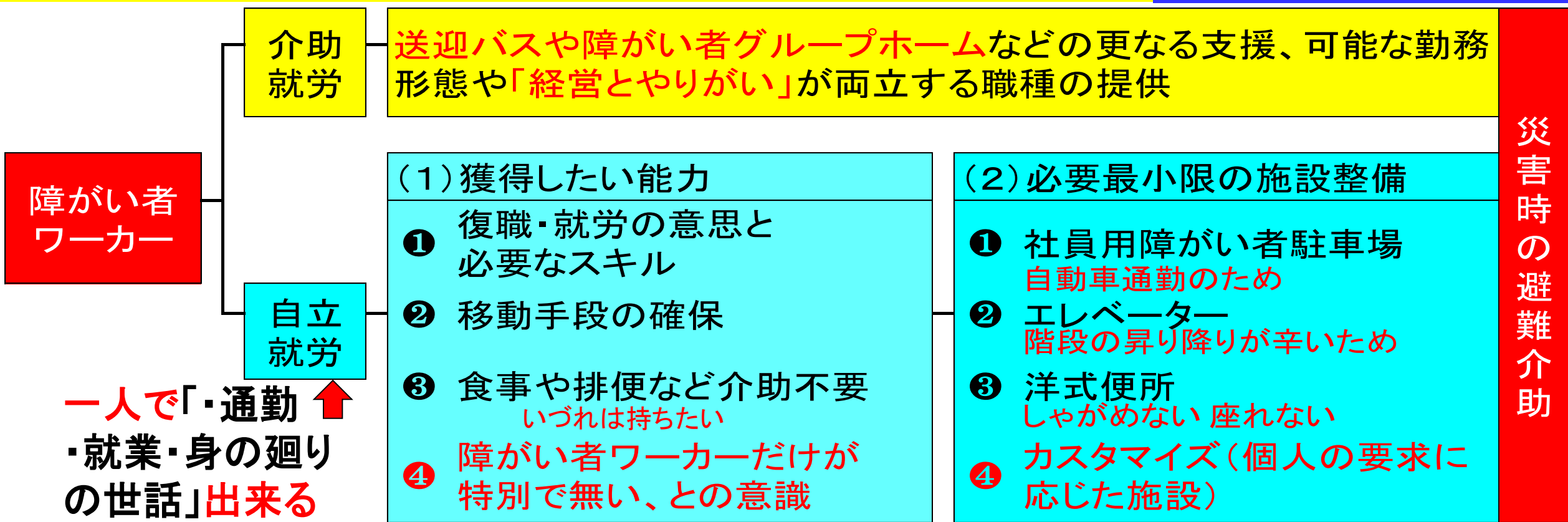
障害者ワー
カー歴 15年

高齢者ワー
カー歴 5年



7、自立就労可能な私(左半身不随者)の場合

「テクノロジーの進展」が「選択の自由」に繋がる



① 社員用障がい者駐車場



② エレベーター



③ 洋式便器

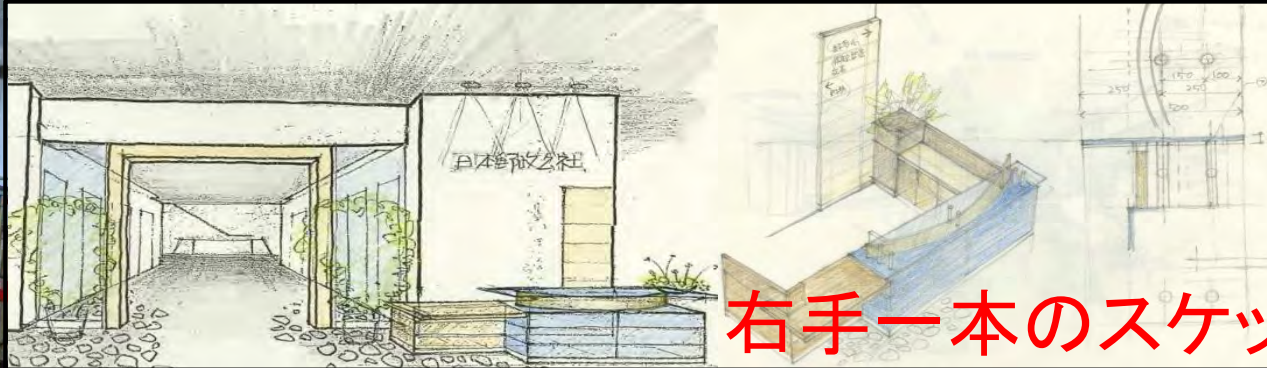


追加(復職時)
カスタマイズ

- ④ 右側の作業スペース
- ⑤ 両肘付、滑り止め椅子

8、右手一本 どう仕事に臨んだか？

(1) 復職する職場があり パソコンの各自配備など時期が良かった
役割(49歳当時)が 部外交渉・計画プラン作成やスタッフ指導 ドラフターでの図面作成時代
では無く パソコン(CAD)が主流 **パソコンスキルの習得が足りなかった**



右手一本のスケッチ

(2) スケッチでイメージを伝え 図面化

右手一本でスケッチを描き 委託事務所が
図面化チェック後に次の段階に進めた

(3) **必要な部位は自らが描く**

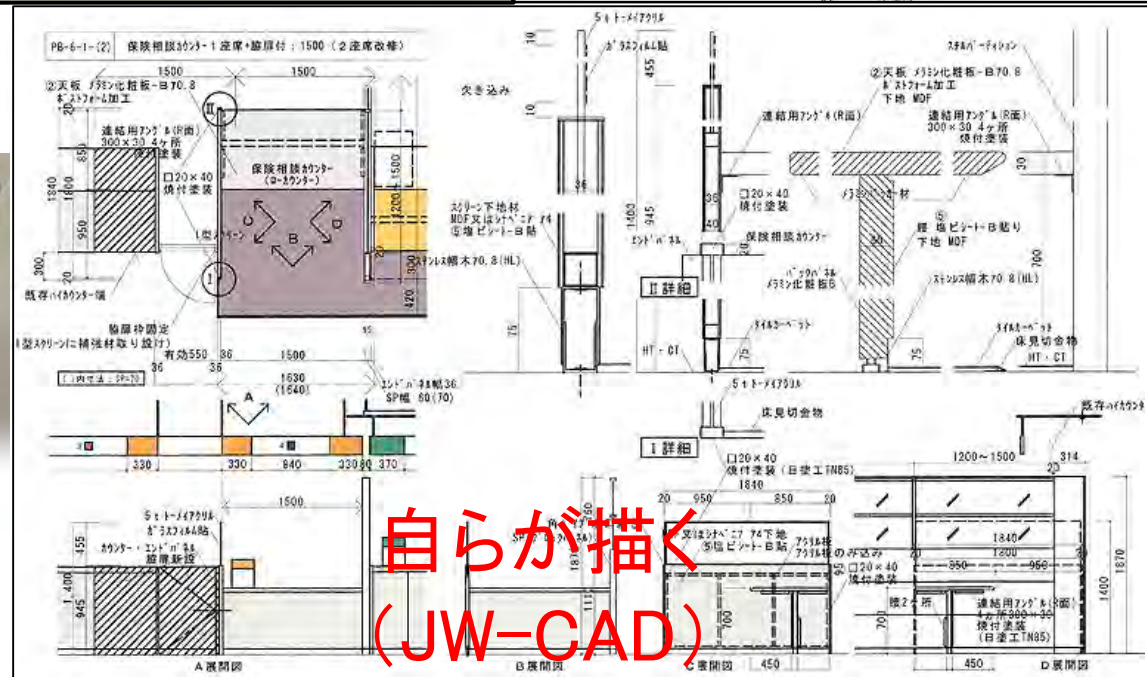
スケッチだけでは伝わらない基本寸法、
色彩、材質、ディテールなどを図面化

(4) 共同作業

行き辛い場所は**写真撮影**をして貰い
スケッチ・図面化・チェック・修正後に施工



ドラフターから
パソコン(CAD)



自らが描く
(JW-CAD)

9、今は無理でも諦めない 解決の選択肢は必ず増える

「テクノロジーの進展」が「選択の自由」に繋がる

12、不自由さのほとんどは 施設整備以外！

「テクノロジーの進展」が「選択の自由」に繋がる

- (1)生活編
- ①買物籠がレジまで持てない
 - ②ウサギからカメ...走ることが出来ない
 - ③拍手が出来ない
 - ④笑うと笑顔が歪む
 - ⑤ステンドレスで歩けない
 - ⑥雨がふると濡れにくい服で濡れにくい濡れ
 - ⑦強風に吹き飛ばされる
 - ⑧道路が広いと横断歩道が渡りきれない
 - ⑨好物の納豆がかきまわせない
- (2)通勤編(電車・車)
- ①ラッシュや混雑車両は避ける
 - ②ホームの人波みや乗降が危険
 - ③席を譲られても中央付近はダメ
 - ④高速走行時フロントガラス曇り止め操作
 - ⑤セルフサービス給油所が使えない
 - ⑥車通勤(90分~120分)時のトイレが我慢出来ないことが多い

- (3)職場編
- ①電話をとるとメモがとれない
 - ②手帳や資料が持てない
 - ③パソコンが操作しづらい
 - ④メールやチャットが読めない
 - ⑤セルフサービスランチは苦手
 - ⑥席からトイレが遠く時間調整が必要
 - ⑦現場調査に追いつけない
 - ⑧車通勤なので帰りに一杯飲めない
 - ⑨パソコンのキーが操作しづらい
 - ⑩通路幅が狭く通りづらい事がある
- (4)デリケートな事
- 階段の昇り降りは手摺を握る ぶら下がった杖が階段に当たってカランコロンと響くと 嗚呼 障がい者になったと思った
- 避難は一人では無理

助けられる事もあれば、不自由な動作から周囲が学ぶ事もある

13、今は無理でも諦めない

「テクノロジーの進展」が「選択の自由」に繋がる

(1)全ての人からより多くの人へ

障がいの種別と程度では出来る事と出来ない事が異なる

(2)メリットがデメリット

誘導ブロックは
・車椅子利用者や・高齢者の方々には歩き辛い

(3)規制緩和や技術開発で実現

エレベーターの出入り口が二方向でも良くなり、駅の改修などに役立っている

進化

ユニバーサルデザイン

整備プロセスのイメージ



19、仲間へのエールと健常者への一つ情報

尊厳

- エッセー
- 限りある人生をより快適に
- リハビリ中に書き綴った思いを退院後に整理
- 第一回 限りある人生をより快適に
 - 第二回 「すみません」から「ありがとう」へ
 - 第三回 着替えることの大切さ
 - 第四回 箸手で食べても美しく
 - 第五回 適切な位置と時間そしてサイン
 - 第六回 「衣・食」の柔軟性を「住」にも
 - 第七回 「心・技・体」
 - 第八回 巣立ち
 - 第九回 グリコのおまじ
 - 第十回 快感を感じる歩き方
 - 第十一回 生まれ変わるなら生きている内
 - 第十二回 気遣いのある事無く、気遣い過ぎる事無く
 - 第十三回 誰のために
 - 第十四回 「作法・道具・人情」
 - 第十五回 盆・暮れ
 - 第十六回 小さなお出
 - 第十七回 父(とうちゃん)
 - 第十八回 母(かあちゃん)
 - 第十九回 雑感
 - 第二十回 雑感
 - 第二十一回 雑感
- 印は雑誌「ネオパ」に掲載
- 退院後の2000年:記

第一回 限りある人生をより快適に

見上げると遠く星が無数に見えた。凍える北風に木立が激しく揺れている。寂々に灯る明かりが暖かい。それらを胸一杯吸い込みたいと夜の歩行訓練中。息を明け思いつき深呼吸をした。

何故自分だけがと一人悩む、残された日々がより快適に過ごせ、生まれた喜びを苦惱の中に味わって欲しい。介護の心労や手間を少しでも和らげ、彼らの「心の叫び」を聞いてあげて欲しい。どんなに救われるかは私自身痛切に感じた。

昨年、脳内出血で倒れた。「このまま死んでもいいか?」の思いが浮かんで消えた。一瞬の内に障がい者となった今、「無念さ」がこみあげどうする事も出来無い。まだ40代、これは何故だろうが本人ばかりか両親や周囲をも同様な「思い」に落し入れる。

人は寝て、起き、働き、食べ、排泄すると実感した。それが不自由となる。健常者も病氣や怪我等で一時的に弱者となる。何時、障がい者になるとも限らない。「衣・食・住」の整備のみで快適な人生は過ごせ無いが、もう少し考慮する事で、自身でやり遂げた達成感が得られ、さらなる意欲に繋がれば本人も介護者も助かる。

使い易く、デザイン性に優れ、適性コスト、何より優しい気持ちと意欲が自然と育まれるなどから改めて見直す必要性を感じた。

障がい者となった一級建築士として改めて考えた事、感じた事を伝え改善する事が「命」を助けられ「無念さ」を和らげてくれた人達への恩返しとなり、健常者と障がい者や弱者を繋ぐ「掛け橋」の一人となればとの、新たな「思い」がようやく芽生え始めた。

協力仕合える仲間が集まり、1つでも実行出来る事を望む。

10、マナーを知って守るUDを反映した社会

「選択の自由」に繋がる

(1)障がい者用トイレ

(2)優先席

(3)障がい者用駐車場

必要としている人が使うものは使わない



10、実務を主に定年(49歳~60歳)その光と影

尊厳

通勤は大変だったが心身を鍛えてくれた

(1) 復職 49~52歳 関東郵政局(大宮)

- ① 兼務発令でサテライトオフィス 地下駐車場
- ② 片道10km(≒40分)バス・電車/一般道通勤
- ③ 勤務 5時間から8時間
- ④ 環境1.6mパーティション区画
- ⑤ 昼食 介助から自立
- ⑥ 業務「郵便局のUD」ほどよい責任とやりがい

福岡出張 飛行機
福岡逓信病院UDレビュー

① 関東支社(大宮)



② 「障がい」を活かす

郵便局のUD



③ 定年まで実務が主



(2) ~ 転勤① 52~57歳 本省(霞が関) 地上自走式駐車場

転勤決定の三者面談(主治医と所属部長と私)

- ① 社宅を用意したが生活困難で自宅通勤
- ② 片道44km(≒150分) 高速通勤 渋滞10km
- ③ 8階 右作業スペース確保 設計・監理(実務)

通勤・出張は車
ガソリン・駐車料金代は支給
高速料金は個人負担
新潟等遠距離は新幹線

(3) 転勤② 57~60歳 日本郵政(株) 首都圏SC 浅草 機械式駐車

- ① 片道45km(≒150分) 高速通勤 渋滞10km
- ② 6階 通常レイアウト 主業務はサービス管理 設計・監理(実務)

定年➡

④ 定年後(60~65歳)

勤務評価がD評価

のため

高齢再雇用社員

11、そうなってからでは遅い

尊厳

13、贅沢な？定年後の悩みに どう向き合うか

尊厳

(1) 社会的な居場所が無い
自身の肉体的・精神的な不調による病気
配偶者や親の介護 ニートや引きこもり 生活苦
や将来への不安等と切実な問題多い中
クローズアップされている

(2) 退職を迎えてからでは遅すぎる

- ① 49歳で障がい者 地域デビューが10年早かった
- ② 60歳～65歳月半分勤務
- ③ 在職中からチャレンジ

(3) 「社会への経験と知識の還元」

- ① 今までの仕事を活かす
- ② 新たなスタイルを見出す

(4) 住居でも同様

自分なりの居場所を持つ

○1999年(H11年)	脳内出血で倒れ左半身不随障害者(障害者手帳2級)	
▲49歳障がい者	49歳 後援・障害者になった後の自動車免許取得	
	51歳 現在/JFMAユニバーサルデザイン研究部会メンバー	
	51歳～52歳「埼玉県ユニバーサルデザイン懇話会」委員	
○2007年(H19年)～2009年(H21年)	57歳～59歳/埼玉県上尾市「街づくり専門家」	新潟医療福祉大学 ユニバーサルデザイン概論
○2009年(H21年)～2014年(H26年)	59歳～64歳/新潟医療福祉大学 非常勤講師	
○2009年(H20年)～現在	58歳～現在/日本生活支援大学 評議委員	将来も意識した 10年先
○2011年(H23年)～現在	60歳～現在/千葉県立保健医療大学 講師	千葉県立保健医療大学 障害者モデル
○2011年(H23年)	60歳/日本義肢装具学会 ファッションショー出演	
○2011年(H23年)	60歳/3月31日定年、日本郵政引継ぎ後、高齢再雇用社員として	
○2011年(H23年)～2013年(H25年)	60歳～日本郵政株式会社(生活支援工学概論(都市))	
○2014年(H26年)～2017年(H29年)	64歳～現在/聖学院大学 講師	
○2014年(H26年)～2017年(H29年)	64歳～現在/埼玉県ユニバー	
○2016年(H28年)	65歳/3月31日退職、日本郵政	
▲65歳退職	65歳/生活環境・企画設計工房	
	66歳～現在/埼玉県ユニバー	
	66歳～現在/日本工業大学	

12、その間(60歳～65歳)に退職後もイメージ

尊厳

月に10日間の勤務とし 生み出した時間を将来に役立てる

(1) 高齢再雇用社員 定年～62歳 日本郵政(株)

- ① 片道45km(≒150分) 高速通勤 首都圏SC(浅草)
- ② 6階一般レイアウト データ入力は退院時に主治医から許可された業務
- ③ 現役社員へ業務移転、風通しを悪くしない

(2) 高齢再雇用社員で転勤 62歳～65歳

- ① 片道44km(≒150分) 日本郵政(株)本社(霞が関)
- ② 13階 一般レイアウト アーカイブ(社史等の記録)

(3) モチベーション維持の場を持つ58歳～65歳

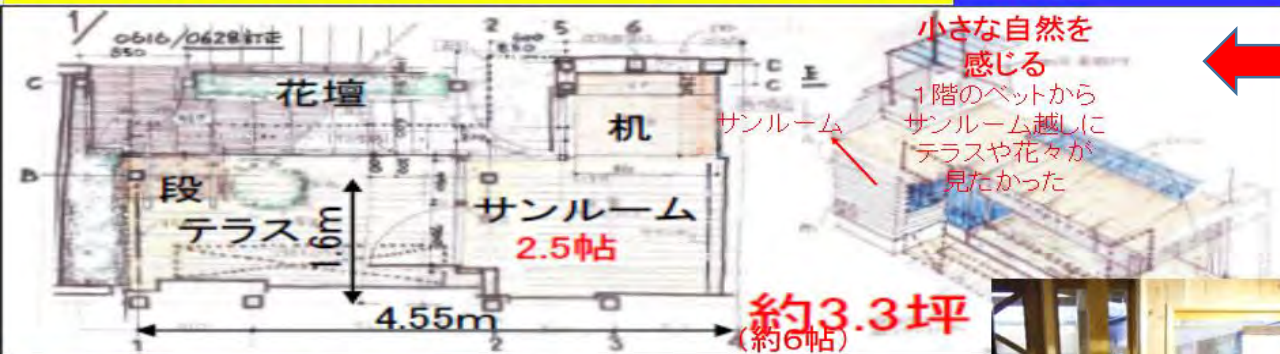
- ① 各大学での非常勤講師など
- ② JAFMなどでのセミナー
- ③ 埼玉県UD推進アドバイザー
- ④ 蕨市立北小学校
イ: 彩の国障がい大学伊奈学園
リニューアル工事などの相談

来る日も来る日もデータ入力 2年間



18、在宅介護の居場所はテレワークにも役立った

尊厳



14、退職時2016(28)年4月20日「生活環境・企画設計工房」設立

尊厳



(1) 講義やセミナー等の講師

(2) 着脱や歩行等のモデル

「私流私サネイ」
「一人の福祉と自由」
「不自由な福祉」
「生活支援」
日本生活工学協会

「レター通信」
「NO」
「30」
「リターン」

(3) 執筆(依頼が無くても出来る)

(4) 企画・設計・必要に応じ施工



12、「障がいを一つの個性」として生きて来た

尊厳

(1) 困難だがモチベーションを維持し続ける

- ① 家族・友人・仕事などの**良い関係**を少しでも多く得る
- ② **浮き沈みはあるの自覚**維持出来る場を複数得る

(2) 笑顔が歪んでも**チャンスに飛び込む**

価値観の違う同期が直属の上司・新たなスキル(JW-CAD)取得の疲労が重なり 56歳で**左顔面麻痺** この時期の **非常勤講師の誘いに挑戦**
扉は叩か なければ開かない

(3) **あえて「障がい」で差別化**

- ① 左半身不随の一級建築士 **人目を惹き 一歩リード**
- ② **競合他社よりも早い** 右手一本のスケッチ対応
- ③ 紙を抑える文鎮の代わりに**手が差し伸べられる**
- ④ 自立障がい者ワーカーの提案ならではの**説得力**
- ⑤ パソコン不慣れなアナログ対応が施主の**好感度**を獲得
- ⑥ 結果は**当日か遅くても翌日の朝一番**に提出

(4) 「障がい」を **憂いだけで無く 活かす！**



障がい直後の**笑顔**



顔面麻痺後の**笑顔口が歪む**



13、そうは言わせない そうはさせない

尊厳

会社の目標達成の一員として職場復帰をし、多少でも応えられたと思ってる

(1) 清濁併せのみ 対等な関係へ お客様扱いから抜け出す

- ① 会社側も 気遣い過ぎず出来る事は遣って貰う
- ② 我々もこうすれば出来る等の建設的提案や残された能力でベストを尽くす
どうしても出来なくなった事は丁寧にお願いする
- ③ 我々の日々の動作やノウハウに会社側も学ぶ事は多い

(2) 出来る 出来ない事の自己判定を受け入れた選択

- ① 「経営とやりがい」が両立する職種は自分にとって何か？
- ② 両立しない場合の優先順位は？
- ③ 選択職種に必要支援(ハード・ソフト)は何か？
- ④ 必要に応じた残業や集中的な作業が可能か？
- ⑤ 期限が守れるか？
- ⑥ 出来ない場合は単純業務も前向きに受け入れる

(3) 一人ぼっちだった

実務最前線で自立就労障がい者ワーカーは居なかった



惨めさをさらけだす
10月に担がれた病院近く
で忘年会



装具無しでは歩けないが
出来ることはやる

(1) どう捉え → 希望により目を向け再起へ

私は寝たきりベットから45km先の職場(霞ヶ関)にもう一度戻ってやるとためらい無く歩き出そうとしていました

(2) どう解釈 → 生まれ変わるなら生きてる内

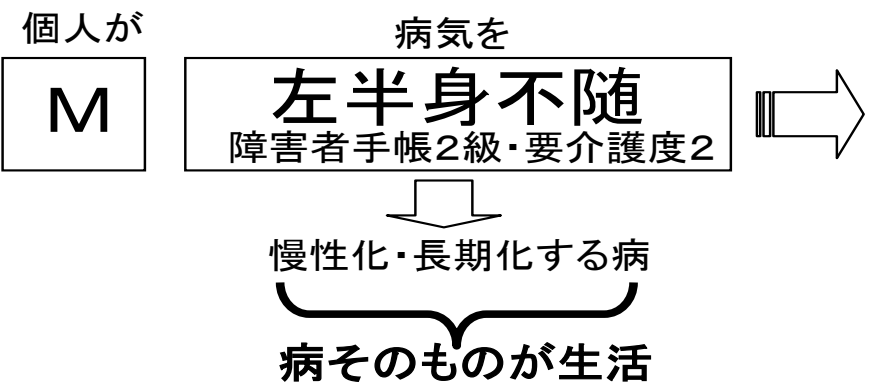
残された人生を快適に生き抜くか？新たな自分に興味を持ち多少のワクワク感が湧き上がりました

(3) 意味づける → 「新たなステージ」で役立てたい

私を見守ってくれた新潟の自然や受け継がれた祖先からの贈り物 別居生活 の私達兄弟を可愛がってくれた人達や 障がい者になった私の無念さを和らげた人達への感謝の気持ちが「新たな生き甲斐」とも思いました

I 病いの経験

主観的かつ個別的側面に着目



II 病いの語り

時間的経過の重視

- 1、どう捉え
- 2、どう解釈
- 3、意味づける



退院後 初めての笑顔写真
「ラフレ埼玉」にて

15、UDナイトトークは今(車椅子が必要)でも参加可能

尊厳

- 1、コロナ禍の夜 21:00~21:30(90分)ゆったりと気分でオンラインセミナーを3年間に渡って行った
- 2、多様な当事者の個性から柔軟に学ぶ為にゲストとパネラーは「障がい当事者」働き易い環境整備造りや一緒に働き成果を上げた「UDに関わってきた人」「両方の経験者」にお願い
- 3、今回のファシリティマネジメントフォーラム2024はその延長上にある

UDナイトトーク @ZOOM

●9月23日(水) 21:00~22:30
トーク「馬鹿言ってる心やねえ、また始まってないねえ」with 成田一郎 (JFMA)

●10月21日(水) 21:00~22:30
鼎談(対話形式)「どうしたら一人でも増やせるのだろうか」with 坂本崇徳(コクコ)、木原隆明(専門学校非常勤講師)、仲田裕紀子 (JFMA UD研究部会)

●11月25日(水) 21:00~22:30
トーク「輝ける未来は過去をも変える」with 古坂幸代 (WFM)

●12月16日(水) 21:00~22:30
鼎談「リモートワークを体験して」with 黒木正郎(建築家)、松崎駿(一級建築士)、児玉達朗 (JFMA UD研究部会)

●1月20日(水) 21:00~22:30
トーク「今じゃ、笑える話さ」with 星川安之(共用品推進機構)

●2月17日(水) 21:00~22:30
鼎談「コロナ禍に生きる次世代と考えるUD」with 波多野弘和(一級建築士)、石川由佳子(義肢装具士)、塩川完也 (JFMA UD研究部会)

JFMAユニバーサルデザイン研究部会
生活環境・企画設計工房 共催

UDナイトトーク@ZOOM

高山政与志が友人達と語る11の夜話 2021

第1話 5月6日(木) 21:00~22:30
「障がい」一つの個性として生きて来た
高山政与志 / 坂本崇徳・原須直樹・松内志郎

第2話 6月9日(水) 21:00~22:30
噂なきバリアフリー
川内美彦 / 仲田裕紀子、松内志郎

第3話 7月7日(水) 21:00~22:30
私がやりたいこと
中津信 / 児玉達朗、松内志郎

第4話 8月12日(木) 21:00~22:30
音のない世界と音のある世界をつなぐ
松原崇洋 / 立石晋、今泉佳祐

第5話 9月8日(水) 21:00~22:30
JFMAのUDの歴史と未来
似内志郎 & JFMAUD研究部会
黒木正郎、波多野弘和

第6話 10月6日(水) 21:00~22:30
形にする前の大事なこと
成田一郎 / 古坂幸代、児玉達朗

第7話 11月10日(水) 21:00~22:30
共生社会における「モノ」と「コト」
鹽川安之 / 塩川完也、星川大

第8話 12月8日(水) 21:00~22:30
女性が社会で働くということ
古坂幸代 / 中島秀典、仲田裕紀子

第9話 1月5日(水) 21:00~22:30
働き方改革というテーマによって、
コロナ禍とは何だったのか?
坂本崇徳 / 松内志郎、山本英史

第10話 2月9日(水) 21:00~22:30
「障がい」ほど人間的か
黒木正郎 / 松内志郎、松崎駿

第11話 3月9日(水) 21:00~22:30
デザインとは何か
田中一雄 / 黒木正郎、似内志郎

コーディネーター
高山政与志 (70歳)
不自由な身体に障害を精神を振り替ける

JFMAユニバーサルデザイン研究部会
生活環境・企画設計工房 共催

UD ナイトトーク@ZOOM

高山政与志が友人達と語る11の夜話 2021
マイ・ストーリー 多様性と個性、相反する葛藤の中で 11話

話	開始	ゲスト	コーディネーター	パネラー
第1話	5月6日(木) 21:00~22:30	高山政与志, 他	似内志郎	坂本 崇徳 (建築家, コクコ) 原須直樹 (アーティスト)
第2話	6月9日(水) 21:00~22:30	川内美彦, 他	似内志郎	似内志郎 (JFMA UD研究部会) 仲田裕紀子 (JFMA UD研究部会)
第3話	7月7日(水) 21:00~22:30	中津信, 他	似内志郎	似内志郎 (JFMA UD研究部会) 児玉 達朗 (JFMA UD研究部会)
第4話	8月12日(木) 21:00~22:30	松原崇洋, 他	似内志郎	立石晋 (NPO法人21の21の代表理事) 今泉 佳祐 (一級建築士)
第5話	9月8日(水) 21:00~22:30	似内志郎 & JFMAUD研究部会	似内志郎	黒木 正郎 (建築家) 波多野 弘和 (一級建築士)
第6話	10月6日(水) 21:00~22:30	成田一郎	似内志郎	古坂幸代 (WFM) 児玉 達朗 (JFMA UD研究部会)
第7話	11月10日(水) 21:00~22:30	鹽川安之	似内志郎	塩川 完也 (JFMA UD研究部会) 星川大 (建築家)
第8話	12月8日(水) 21:00~22:30	古坂幸代	似内志郎	中島秀典 (オンラインデザイナー) 仲田裕紀子 (JFMA UD研究部会)
第9話	令和4年 1月5日(水) 21:00~22:30	坂本 崇徳	似内志郎	坂本 崇徳 (一級建築士) 山本英史 (一級建築士)
第10話	令和4年 2月9日(水) 21:00~22:30	黒木 正郎	似内志郎	似内志郎 (JFMA UD研究部会) 松崎 駿 (一級建築士)
第11話	令和4年 3月9日(水) 21:00~22:30	田中一雄	似内志郎	黒木 正郎 (建築家) 似内志郎 (JFMA UD研究部会)

JFMAユニバーサルデザイン研究部会

2022年度UDナイトトーク@ZOOM
「選択の自由」としてのユニバーサルデザイン

第2回 (2022.10.13 (木) 21:00-22:30)
「まちづくり×UD」レクチャーと座談会
講師: 高橋儀平氏 (東洋大学名誉教授) 今中啓太氏 (NTTアーバンソリューションズ総合研究所 取締役 進行 (聴き手) 塩川完也 JFMAユニバーサルデザイン研究部会)

参加方法: ZOOMによるオンライン (以下のURLから参加できます) / 予約不要 / 無料
<https://us06web.zoom.us/j/98213179876?pwd=Yk5kY2NmNkx2MmF0eWp0b1RURjZz02>

JFMAユニバーサルデザイン研究部会 2022年度UDナイトトーク@ZOOM

「選択の自由」としてのユニバーサルデザイン

第4回 2022/12/13 (火) 21:00-22:30
レクチャーと座談会
「多様性時代のトイレ×UD」
～だれでも気兼ねなく利用できるトイレを考える～
講師: 佐藤 敬子氏 (TOT株式会社 UD-フレンドリーな推進部 UD推進グループ グループリーダー 進行 (聴き手): 波多野弘和 高山政与志 JFMAユニバーサルデザイン研究部会)

参加方法: ZOOMによるオンライン (以下のURLから参加できます) / 予約不要 / 無料
<https://us06web.zoom.us/j/98213179876?pwd=Yk5kY2NmNkx2MmF0eWp0b1RURjZz02>

16、輝ける未来は過去をも変える (by X Japan YOSHIKI)

尊厳



WHO憲章 「健康」の定義
肉体的にも、精神的にも、そして**社会的**にも、すべてが満たされた状態



1、障がい者の思い 少し知る

2、語る・伝える場を持つ

3、免許取得

4、生活環境・企画設計工房設立